

$\sum_{k=0}^n (-1)^{n+k} {}_n C_k k^n = n!$ の直接的な証明 (2)

…微分を利用…

かたおか ひろのぶ
片岡 宏信

二項定理により

$$(e^x - 1)^n = \sum_{k=0}^n {}_n C_k e^{kx} (-1)^{n-k} \quad (1)$$

が成り立つ。(1)を x で微分すると、

$$n(e^x - 1)^{n-1} e^x = \sum_{k=0}^n {}_n C_k e^{kx} (-1)^{n-k} k \quad (2)$$

となる。(1)を 2 階微分すると、

$$\begin{aligned} n(n-1)(e^x - 1)^{n-2} e^{2x} + n(e^x - 1)^{n-1} e^x \\ = \sum_{k=0}^n {}_n C_k e^{kx} (-1)^{n-k} k^2 \end{aligned}$$

である。このように、(1)を n 階微分する。

(1)を x で $i (< n)$ 階微分するためには、(2)を x で $i-1$ 階微分すればよい。(2)の左辺を $i-1$ 階微分すると、

$$\begin{aligned} n \frac{d^{i-1}}{dx^{i-1}} (e^x - 1)^{n-1} e^x \\ = \sum_{r=0}^{i-1} a_r^{(i-1)} n(n-1) \cdots (n-r) (e^x - 1)^{n-r-1} e^{(r+1)x} \end{aligned}$$

ここで $a_r^{(i-1)}$ は $a_0^{(i-1)} = a_{i-1}^{(i-1)} = 1$ で

$$\text{漸化式 } a_r^{(i-1)} = a_{r-1}^{(i-2)} + (r+1) a_r^{(i-2)}$$

で決まる整数である。

一方、右辺の式を $i-1$ 階微分すると、

$$\frac{d^{i-1}}{dx^{i-1}} \sum_{k=0}^n {}_n C_k e^{kx} (-1)^{n-k} k = \sum_{k=0}^n {}_n C_k e^{kx} (-1)^{n-k} k^i$$

となる。したがって、

$$\begin{aligned} \sum_{r=0}^{i-1} a_r^{(i-1)} n(n-1) \cdots (n-r) (e^x - 1)^{n-r-1} e^{(r+1)x} \\ = \sum_{k=0}^n {}_n C_k e^{kx} (-1)^{n-k} k^i \end{aligned}$$

が成り立つ。この式において $x=0$ とおくと、

$$0 = \sum_{k=0}^n {}_n C_k (-1)^{n-k} k^i$$

$$\text{したがって、} 0 = \sum_{k=0}^n {}_n C_k (-1)^{n+k} k^i$$

となる。この式は、補題として示された式である。

さらに、(1)を x で n 階微分すると、すなわち(2)を x で $n-1$ 階微分すると、左辺の式は

$$\begin{aligned} n \frac{d^{n-1}}{dx^{n-1}} (e^x - 1)^{n-1} e^x \\ = \sum_{r=0}^{n-1} a_r^{(n-1)} n(n-1) \cdots (n-r) (e^x - 1)^{n-r-1} e^{(r+1)x} \\ = n! e^x + \sum_{r=0}^{n-2} a_r^{(n-1)} n(n-1) \\ \cdots (n-r) (e^x - 1)^{n-r-1} e^{(r+1)x} \end{aligned}$$

一方、右辺の式は

$$\begin{aligned} \frac{d^{n-1}}{dx^{n-1}} \sum_{k=0}^n {}_n C_k e^{kx} (-1)^{n-k} k \\ = \sum_{k=0}^n {}_n C_k e^{kx} (-1)^{n-k} k^n \end{aligned}$$

となる。したがって、

$$\begin{aligned} n! e^x + \sum_{r=0}^{n-2} a_r^{(n-1)} n(n-1) \\ \cdots (n-r) (e^x - 1)^{n-r-1} e^x \\ = \sum_{k=0}^n {}_n C_k e^{kx} (-1)^{n-k} k^n \end{aligned}$$

が成り立つ。この式において $x=0$ とおくと、

$$n! = \sum_{k=0}^n {}_n C_k (-1)^{n-k} k^n$$

$$\text{したがって、} n! = \sum_{k=0}^n {}_n C_k (-1)^{n+k} k^n$$

が成り立つ。これで問題の式が導けた。

(兵庫県立大学附属高等学校)